

技能実習生として3年間、中泊の介護施設で働いていたレカさんとロシタさんがインドネシアに帰国することとなり、帰国前の1月31日(火)に株式会社ディスプレイ代表取締役会長の塚本山和さんと社会福祉法人向明会理事長の秋元智子さんとともに町長のもとを訪れました。

レカさんは帰国後、株式会社ディスプレイの関連会社が経営する日本語学校の講師として、これから技能実習生として日本に来ることになる人たちに日本語だけでなく、文化や介護も教えていくそうです。

ロシタさんは一時帰国後、また日本に戻ってきて鹿児島県の介護施設で働いています。

レカさんもロシタさんも共にたくさんの楽しい思い出を作ってくれた塚本会長と秋元理事長に感謝している様子でした。

レカさんは「インドネシアでは雪が降らないため、雪が見たくなったらまた中泊町にくる」と話していました。



地区問わず話せる場所に

高齢者の
居場所づくりが行われる



家にいることが多くなる冬の季節に、外に出て近所住民とのコミュニケーションがとれる場所をつくることを目的とした高齢者の居場所づくりが2月6日(月)に小泊老人憩の家で開催され、この日は周辺地区の住民もあわせて約20人が参加しました。

この集まりは新町2地区の兼任集落支援員の太田美友さんが中心となり、毎週月・金曜日の午前9時～午後4時の間行われています。レクリエーションの

景品には太田さんが準備したもの他、郵便局や銀行、社会福祉協議会らの寄付もあり、多くの方に喜んでいただいているそうです。

太田さんは「ここが地区問わずたくさんの人の居場所となればいい。ぜひ来てみてほしい」と話していました。

